対象地域	フランス リヨン （及びローヌアルプ州）	在リヨン出張駐在官事務所 リヨン日本人会治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 紙	**2012 年 3 月 31 日**	**2012 年 3 月**
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び在リヨン出張駐在官事務所ルート	
調査項目：	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

A、　一般的傾向

B、　地区別・犯罪集計結果：補足文書 1

C、　多発の手口と場所の特定、防止策：補足文書 2

A, 一般的傾向

今月は特に商店を狙った強盗事件が多く見られました。ターゲットは相変わらずタバコ屋や花屋、スーパーなどの小規模商店です。宝石店に警察官を装って押し入る強盗事件も見られました。さらに、個人に対する恐喝窃盗や、個人宅で待ち伏せした強盗事件も報告されています。次いで脅し、暴力行為も多くなっています。また、ホームジャック事件も 1 件報告されています。

[補足文書 1]

B, 地区別 治安情報集計結果

地域別に見ると、リヨン東地区の Villeurbanne 市、次いでリヨン北地区、リヨン 3 区で犯罪の発生件数が多くなっています。

2012 年 3 月集計結果

	1 区	2 区	3 区	4 区	5 区	6 区	7 区	8 区	9 区	ﾘﾖﾝ 東	ﾘﾖﾝ 西	ﾘﾖﾝ 南	ﾘﾖﾝ 北	ｱﾝ 県	ｲｾﾞｰﾙ 県	ﾛﾜｰﾙ 県	***合計***
殺人事件・凶悪事件																1	***1***
すり																	***0***
空き巣・盗難										3							***3***
置き引き																	***0***
引ったくり			1														***1***
万引き																	***0***
強盗・暴力窃盗	2	1	2		1				1	3			1		2		***13***
窃盗（車・自転車）																	***0***
カー/ホームジャック											1						***1***
車内盗難													1	1			***2***
猥褻行為・強姦												1					***1***
いたずら電話･迷惑																	***0***
脅し・暴力行為	1				1		1	1		1	1		3				***9***
詐欺（カードなど）													1				***1***
拉致、誘拐																	***0***
破損・放火							2				1	1					***4***
ストーカー																	***0***
麻薬取引・所持			2							2			1				***5***
飲酒／無免許運転																	***0***
夫婦間暴力																	***0***
軽犯罪										1							***1***
合計	***3***	***1***	***5***	***0***	***2***	***0***	***3***	***1***	***1***	***10***	***3***	***2***	***7***	***1***	***2***	***1***	***42***

備考欄：　リヨン東→Meyzieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons

リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon

リヨン南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison

リヨン北→Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

＊数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

[補足文書 2]

C, 多発の手口と場所の特定･防止策（新聞による報道記事から）

- 「アイルランドのアスファルト舗装業者」がローヌ県にカムバック：詐欺に要注意！

  「工事現場で使ったコールタールの残りがあるから格安料金で自宅の庭や通り道を舗装します」という手口を使った詐欺行為がローヌ県で再び発生している。被害に遭った企業経営者は、1㎡あたり 10 ユーロという格安料金につられて社屋の前庭に開いた穴を埋めてもらうことで合意した。ところが、舗装業者は穴を埋めるだけでなく前庭全体を舗装し、支払いの時になって 1 万ユーロを要求。経営者が支払いを渋ると 9000 ユーロ、次いで 6000 ユーロと値引きしてきたため、詐欺と判断して警察に通報した。同様の事件がローヌ県の他の市町村でも確認されている。たいていの場合 1 ㎡あたり 8〜10 ユーロの低価格だ。しかし作業の質も価格に見合っており、厚さ数ミリメートルのコールタールに砂利を撒くという粗悪なもの。実際、上記の塞がったはずの前庭の穴はまた元どおりになりかけていた。（プログレ紙 3 月 10 日）

- ATM の紙幣出口に粘着テープで覆った金属プレートを仕掛けるという巧妙な手口で現金を盗んでいたルーマニア人が逮捕された。これにより、現金を引き出しても紙幣がテープに貼り付いて出てこないというもの。被害者は銀行カードを取り戻せるだけだ。犯人はこの手口を 12 回ほど使い、480 ユーロを盗んだ。警察ではしばらく前からこの男を見張っており、リヨン 3 区にある銀行の前で逮捕された。
  共犯者がいるとみられるが、まだ捕まっていない。（プログレ紙 3 月 13 日）

① 強盗・脅し窃盗

- 3 月 9 日夜 9 時頃、リヨン 3 区にある小型スーパーに武装した強盗が押し入り、金庫の中身を脅し取って逃げた。（プログレ紙 3 月 10 日）
- 3 月 10 日午後 6 時過ぎ頃、Vénissieux にあるタバコ屋で強盗。覆面の 2 人組が押し入り、ピストルで経営者を脅すと、レジの現金と店の奥に合ったタバコのカートリッジを 15 箱ほど奪って逃げた。防犯カメラの映像と顧客の証言が捜査に役立つ可能性がある。（プログレ紙 3 月 12 日）
- 3 月 14 日午後 7 時半頃、Villeurbanne で、閉店間際のタバコ屋に 3 人組が押し入り、ピストルで経営者を脅すと金庫の中身を奪って逃げた。（プログレ紙 3 月 15 日）
- 3 月 19 日夜 8 時から 9 時の間に、リヨン 3 区パールデューショッピングセンターにある書店 Decitre で強盗事件。武装して顔を隠した男が店の裏口で、閉店時間に店員が出てくるのを待ち伏せし、2 人の店員を脅して店内に戻ると金庫の現金を奪って逃げた。（プログレ紙 3 月 20 日）
- 3 月 18 日午後 6 時前頃、リヨン 2 区ペラーシュ駅下のトラムウェイが通過するトンネルの中で、17 歳の少年が 4 人組に携帯電話を要求された。少年が拒否すると、4 人組は少年に暴力を振るい、顔に火の付いたタバコを近づけて携帯電話を脅し取られた。間もなく 4 人組は警察に逮捕された。同週末に、同じ手口の犯行が 2 件発生している。（プログレ紙 3 月 20 日）
- 3 月 30 日午前 8 時 45 分頃、Crémieu（Isère 県）で、娘 2 人を学校に置いて自宅に戻ってきた男性が、家に侵入していた 4 人組に脅され、金庫の中身（宝石類と腕時計）を奪われた。犯人らは被害者をガムテープで縛ると、被害者の車の鍵を盗み、車で逃走した。（プログレ紙 3 月 21 日）
- 3 月 22 日夜 8 時頃、Caluire の花屋で強盗事件。武装した覆面の 2 人組が押し入り、経営者を脅してレジの売上金を奪って逃げた。（プログレ紙 3 月 23 日）
- 3 月 22 日、Villeurbanne で、ケータリングサービスの注文を受けた企業の配達人が、配達先で 1 人の男にナイフで脅され、アルコールボトルを奪われた。犯人はその後間もなく逮捕された。（プログレ紙 3 月 24 日）
- 3 月 28 日昼前、リヨン 1 区で、自治体警察官の服装をした 2 人組の男が宝石店に入っていくと、ピストルと催涙ガスで経営者を脅し、金の宝石類を袋に詰めるとそのまま逃げた。

同じ通りの商店経営者が、2 人組が警察官のブルゾンとキャップ帽を着けているがジーンズをはいてサングラスをしているのを不審に思い、警察に通報していた。間もなく警察が現場に到着し、容疑者らしき人物がサングラスとブルゾン、宝石類が入った袋を捨てようとしているところを捕まえた。（プログレ紙 3 月 29 日）

② 空き巣、盗難

- 3 月 1 日午後 5 時半頃、Villeurbanne で、フラット型テレビと重そうなスーツケースを持った 17 歳と 21 歳の若者がパトロール中の警察官に身元調査を受けたが、所持品の由来を証明できなかった。スーツケースの中身をチェックしたところ、持ち主の身分証明書が見つかった。2 人の所持品は同市で起きた空き巣事件で盗まれたものだった。（プログレ紙 3 月 3 日）
- 3 月 3 日、Villeurbane で、14 歳と 15 歳の少年が警察に逮捕された。2 人は 3 月 2 日深夜に通行人から携帯電話を盗んだ疑い。（プログレ紙 3 月 4 日）
- 3 月 16 日夜、リヨン 3 区で、40 歳の男が警察に逮捕された。男は直前に、女性からハンドバッグをひったくった疑い。女性は軽い怪我を負った。（プログレ紙 3 月 18 日）
- 3 月 17 日午前 2 時頃、Décines で、少年 3 人組が車内盗難の現行犯で逮捕された。（プログレ紙 3 月 18 日）

③ 暴力・窃盗事件

- 3 月 9 日、リヨン 5 区で、21 歳の若者が少年から携帯電話を奪おうとして拒否されたため暴力を振るった。逮捕後、簡易出頭で 8 ヶ月の執行猶予付き懲役 12 ヶ月の判決を言い渡された。男は麻薬消費に由来する借金があった。（プログレ紙 3 月 14 日）
- リヨン 1 区で、住宅の 1 階入口にいた 20 歳の女性に 2 人組の若者が襲いかかり、被害者が抵抗すると地面に押し倒して持っていた 2 つのかばんを奪った。被害者の証言から間もなく 2 人は逮捕された。（プログレ紙 3 月 24 日）

④ 脅し・暴力

- 3 月 4 日午後、高速 A6 号線 Limas 料金所付近で、車の運転手が別の車に乗っていた 3 人組に暴力を受けた。2 台の車の搭乗者は、料金所に付く前に何らかの理由でもめていたもよう。3 人組は間もなく憲兵隊に逮捕された。（プログレ紙 3 月 6 日）

⑤ カージャック・ホームジャック

- Duchère 地区（リヨン 9 区）に住む 17 歳の少年が、3 月 6 日深夜に Ecully の個人宅に侵入しホームジャックを働いたことを認めた。少年は同市の高級住宅に侵入し、居住者が寝ている間にラップトップコンピュータと財布、銀行カード、車の鍵を盗み、中庭に駐車してあった数台の車のうち盗んだ鍵の車を見つけ、盗難品を乗せると車内にあった門のリモコン装置で門を開けてそのまま逃走した。Collonges-au-Mont-d’Or でまだこの車を運転中に警察に見つかり、徒歩で逃げようとしたが憲兵隊に逮捕された。（プログレ紙 3 月 10 日）

2.テロなどに関する一般治安情報

特になし。

3. 在留邦人の被害事例

特になし。

4.今月の出来事

ガソリンが急騰する中、ガソリンタンク容量が 1000 リットルを超える大型トラックがガソリ

ン泥棒のターゲットになっている。現在 1 リットルあたり平均 1.42 ユーロ。ローヌ県では、2 月中旬から高速道路の休憩所や運輸会社の駐車場などで 4 件のガソリン盗難の被害が発生。車両のタンクからガソリンを引き抜く犯行はこれまでにも見られたが、価格上昇で被害が増加傾向にある。
2012 年 2 月のフランス全国でのガソリン平均価格は 1.419 ユーロ。前年 2 月には 1.307 ユーロだった。組織的集団による犯行と、個人による単独の犯行がガソリン引き抜き市場を占めている。（プログレ紙 3 月 5 日）

3 月 7 日、リヨン首都圏の地下鉄、トラムウェイ、一部のバス路線で、154 人の警察官とリヨン公共交通機関 TCL の治安チームとの提携による治安・取締活動が行われた。特にパール＝デュー、ペラーシュ、ヴェニシュー、ローラン＝ボヌヴェイ、ゴルジュ＝ドゥ＝ルーがターゲットになった。2010 年から 2011 年にかけて、交通機関における犯罪件数は 4675 件から 4402 件と 5.8 パーセント減少しており、特に引ったくりの件数は 44.4 パーセントの大幅な減少を見せた。同時に、逮捕件数は 15 パーセント増加した。
利用者 12 万人あたりの被害率を見ると、TCL は安全な交通網とみなすことができる。利用者に対する身体的暴力を伴う事件はフランス全国平均を下回り、TCL 職員への暴力もこれと同じことが言える。警察では、暴力事件発生後はもちろん、公共物破損や運転手に対するレーザー光の使用などに対しても迅速かつ適切な対応ができるよう取り組んでいる。
交通機関運行業者が優先課題としている無賃乗車に関しては、昨年度は 11 パーセント（損失額 1100 万ユーロ）で減少傾向にある。（プログレ紙 3 月 8 日）

5. その他の情報

2012 年 7 月から、車運転者に対し、呼気中アルコール検知キット（éthylotest）の車内常備が義務付けされ、11 月 1 日からはこれに違反すると罰金 11 ユーロが科せられる。
この義務は原動機付き自転車（50cc 以下、時速 45km 以下）を除くすべてのエンジン付き地上車両の運転者を対象とする。フランスでは、死亡事故の 31 パーセントが飲酒運転によるもの。このデータは 10 年前から変化していない。このキットの価格は 1 ユーロから 1.5 ユーロで、薬局および最近はタバコ・新聞雑誌販売店で購入できる。（プログレ紙 3 月 2 日）

アレルギー
スギ、ハンノキ、セイヨウハシバミなどの花粉が飛び始め、花粉アレルギーの症状が出始めている。アレルギーといっても花粉だけでなく、ダニや動物の毛、カビなども原因となる。
仏大気生物学観測網（RNSA : Réseau National de Surveillance Aérobiologique）では、フランス全土の花粉放出量に関する情報を定期的に更新し、状況をホームページ（www.pollens.fr）に掲載している。（プログレ紙 3 月 13 日）